

■ 車椅子バスケットボール（身）



車椅子バスケットボール(身)

車椅子を使用して行うバスケットボールで、ルールは一般のバスケットボールとほぼ同じです。

★ 競技の概要

【チーム編成】

- 男女を問わず、1チーム12名以内で編成。（スタメンは5名。）
- プレイヤーはあらかじめ、障害のレベルに応じて1～4.5の8段階に持ち点が決定されコート内の5人のプレイヤーの持ち点は合計14点以下にしなければならない。

【競技場】

- 一般のバスケットコートを使用する。

【用具】

- 試合球は、（財）日本バスケットボール協会検定7号球とする。
- 使用する車椅子にもフット・レストの高さやタイヤ等に関する規定がある。

【試合】

- 試合時間は、知的のバスケットボールに同じ。
- ボールを保持したプレイヤーは、3回連続でプッシュ（車輪をこぐこと）を行うとトラベリングとなる。（3回目のプッシュまでにボールをバウンドさせれば連続ドリブルとなる。）
- ダブルドリブルの規定はありません。